

群 教 セ	F09 - 01
	平15.217集

# 不登校生徒への 組織的な指導・支援体制づくりの工夫

## 生徒指導主事の立場として、連携した教育相談を目指す 資料

特別研修員 高木 朋重 (尾島町立尾島中学校)

### 《研究の概要》

不登校や問題行動の予防・早期発見・解決のためには、校内の教育相談のシステムを転換し、チームで指導・支援する体制づくりが第一と考えた。また、今年度よりスクールカウンセラーが配置されたことを、全職員の意識変革と、組織的な支援体制を構築する契機ととらえた。生徒指導主事として、校内の人的資源を活用し、連携した教育相談を充実させることが、不登校や問題行動の予防と解決につながることを実践を通して研究する。

【キーワード：教育相談 ほっとルーム 生徒指導主事 組織 連携 チーム】

資料1

平成15年度 生徒理解のための名簿

年	組	番	性	氏名	健康面(身体状況・生活習慣)	生活面(学力・人間性・関心)	学習面(学習状況・進路希望)
3	1	1	1				
3	1	2	1				
3	1	3	1				
3	1	4	1				
3	1	5	1				
3	1	6	1				
3	1	7	1				
3	1	8	1				
3	1	9	1				
3	1	10	1				
3	1	11	1				
3	1	12	1				
3	1	13	1				
3	1	14	1				
3	1	15	1				
3	1	16	1				
3	1	17	1				
3	1	18	1				

資料2

教育相談 予定表

	月 日(月) 相談員	月 日(木) 相談員	月 日(月) 相談員	月 日(木) 相談員
9:00	X		X	
10:00				
11:00				
12:00				
13:00				
14:00				
15:00				
16:00				
17:00				

◎相談員の紹介

- ・○○ ○○さん  
…毎週月曜日午後
- ・○○○○○さん  
…毎週木曜日

◎予約方法は…

左の表をみてください。

◎「予約」になっていないときは、その場でも相談を受け付けます。

◎相談時間は…

原則として  
1件あたり  
40分以内  
とします。

◎くわしいことは…

- ・「相談中」の光がないときに、相談員
- ・職員室の○○先生
- ・保健室の○○先生に聞いてください。

尾島中学校 相談室

\_\_月 \_\_日( \_\_ )

秘

記載者( \_\_\_\_\_ )

短時間のコンサルテーションを有意義な時間にするために！

<h1>今週の(                    )さん・君</h1>
<p><b>本人の様子</b> (いつ、誰からの情報で、どのような様子なのか、できるだけ詳しく書く)</p>
<p><b>学校の対応・関係機関との連携</b> (いつ、誰が、誰に、何を、どのように、・・・対応・支援・指導したのか)</p>
<p><b>今後の対応</b> (いつ、誰が、誰に、何を、どのように、・・・対応・支援・指導すべきか)</p>
<p><b>困っていること・相談したいこと</b></p>

SCとのコンサルテーションの際、利用してください。

原則として、木曜日の朝、学年の教育相談担当を経由して、SCに渡しておく。

SCより
------

教育相談担当	SC

## コンサルテーション・カード

\_\_月 \_\_日( \_\_ ) **秘** 記載者( \_\_\_\_\_ )

短時間のコンサルテーションを有意義な時間にするために！

<h1>(            )さん・君が心配</h1>
<p><b>本人の様子・問題行動の概要</b> (いつ、誰からの情報で、どのような様子なのか、できるだけ詳しく書く)</p>
<p><b>学校の対応・関係機関との連携</b> (いつ、誰が、誰に、何を、どのように、・・・対応・支援・指導したのか)</p>
<p><b>今後の対応</b> (いつ、誰が、誰に、何を、どのように、・・・対応・支援・指導すべきか)</p>
<p><b>困っていること・相談したいこと</b></p>

学年の教育相談担当を経由してSCとのコンサルテーションの際、利用してください。

SCより
------

教育相談担当	SC

## 尾島町立尾島中学校〔第1回不登校PJ〕資料

実施日 平成15年7月10日

**秘**

出席者 不登校PJ委員

対象生徒名 年 組	1学期欠席数 /	記入者
不登校になるまでの概要		

苦戦していること
----------

		学習・進路面 (学習状況・学力) (得意なことや趣味・進路希望)	心理・社会面 (情緒面・人間関係) (ストレス対処スタイル)	健康面 (健康状況) (身体面の様子)
情報 の ま と め	A いいところ			
	B 気になるところ (援助が必要なと ころ)			
	C してみたこと していること			

(検討事項)

D この時点での 目標と援助方針	
---------------------	--

援 助 案	E これからの 援助は 何を行うか			
	F 誰が行うか			
	G 期間は？			

## 「ほっとルーム」運営等に関するアンケート パート2

朝晩めっきり寒くなりました。多忙な毎日ですが、ストレスを解消し、心が不健康にならぬよう、互いに励まし合って乗り越えましょう。  
さて、今年度S.Cと連携した、ほっとルームでの相談や担任とのコンサルテーションを行ってまいりました。現在もお、ほっとルームは発展途上ですが、生徒の不登校問題の解決・不登校の予防・問題行動の予防のためにも、ほっとルームを中心とした教育相談の運営がさらに円滑に、かつ、より効果的に行われることを望んでいます。  
そこで、このような多忙な時期ですが、是非とも皆様のお知恵を拝借いたしたく、以下のアンケートにご協力を賜えれば幸いです。（私事の特研の資料にもさせていただきますが）  
職務多忙の中、誠に申し訳ございませんが、質問には率直なご意見をお願いします。

お名前 \_\_\_\_\_ (差し支えなかったらご記入ください。)

1	あなたは今年度、生徒や保護者との相談やS.Cとのコンサルテーションで、ほっとルームを利用しましたか。 した _____ してない _____
2	不登校の生徒の対応で困っていることはどんなことですか。(○で囲む。複数回答可) ア 生徒の理解が不十分である。 イ 生徒にあった教育相談の技法・技術がよくわからない。 ウ かかわったり、相談したりする時間がとれない。 エ 初期、或いは再登校し始めたときの受け入れ態勢等、他の生徒への対応がわからない。 オ その他( )
3	不登校の生徒の保護者への対応で困っていることはどんなことですか(○で。複数可) ア 学校に対する理解が得られない。 イ 連絡・連携・協力態勢がうまくとれない。 ウ 家庭内の問題に介入するには限界があり、対応できない。 エ 保護者への適切な助言・支援の方法がわからない。 オ その他( )
4	S.Cとコンサルテーションを行った方にお伺いします。何か効果はありましたか。(○で。複数可) ア 生徒への相談・支援の仕方など、かかわり方の選択幅が増えた。 イ 保護者への支援・保護者との連携の仕方の選択幅が増えた。 ウ 教育相談の技法が高まった。 エ 自分の判断に自信が持てた。 オ その他( )
5	S.Cとコンサルテーションを行うとき、どんなことが課題だと感じですか。(○で。複数可) ア スケジュールが合わず、時間がとれない。 イ 話しかけづらい。(タイミングが難しい、など) ウ 何を話せばよいか、わからない。 エ 自分の考えを言う自信がない。 オ その他( )
6	不登校PJに参加した方にお伺いします。何か効果はありましたか。(○で。複数可) ア 不登校生徒の状況がよく分かった。 イ いろいろな考えが出て、支援の方法等選択幅が増えた。 ウ 支援の方向性が出て、支援しやすくなった。 エ 組織で支援していく重要性を再認識できた。 オ その他( )
7	コンサルテーションカード(「今週の( )さん・君」「○○さん・君が心配)」について、改善策があったらお書きください。
8	ほっとルームに、あると便利だと感じになる物(消耗品)があれば、お書きください。
9	昨年度と比較して、本校の教育相談について、変化したと感じることはありますか。聞かせてください。
10	本校の教育相談の組織や運営に関するご意見・ご要望がありましたら、聞かせてください。

※ご協力、誠にありがとうございました。

